

## 活動報告

開催日	報告内容
2016年 2月14日	<p>知的財産法研究会（日韓共同セミナー「産業保安強化のための日韓営業秘密保護法制の動向と課題」）（韓国産業保安研究学会と共同開催・明治大学知的財産法政策研究所後援）</p> <p>李 昌茂（韓国中央大学産業保安学会会長）</p> <p>「韓国における産業技術保護政策の現状及び課題」</p> <p>鄭 鎮根（韓国江原大学ロースクール教授）</p> <p>「日韓両国における機密情報保護の法制比較」</p> <p>田村 善之（北海道大学大学院法学研究科教授、同大学情報法政策学研究センター長）</p> <p>「営業秘密の秘密管理性要件に関する裁判例の変遷とその当否—主観的認識 vs. 『客観的』管理—」</p> <p>林 いづみ（桜坂法律事務所弁護士）</p> <p>「営業秘密保護法制に関する平成27年改正の概要（日本）～企業情報の戦略的マネジメントの観点から～」</p> <p>平澤 卓人（さっぽろ法律事務所弁護士・北海道大学大学院法学研究科博士後期課程）</p> <p>「競業禁止義務：営業秘密の保護と労働者の自由の交錯」</p>
2016年 2月18日	<p>Asia Pacific IP Forum: “East Meets West” —Comparative Transnational IP Law in Practice— University of Washington School of Law, Seattle, United States</p> <p>田村 善之（北海道大学大学院法学研究科教授、同大学情報法政策学研究センター長）</p> <p>“Recent Developments and Issues Regarding the IP High Court in Japan”</p>
2016年 3月5日 ～6日	<p>VIIP 2nd Roundtable on Asia Patent Cooperation The Chinese University of Hong Kong, Hong Kong, The People’s Republic of China</p> <p>田村 善之（北海道大学大学院法学研究科教授、同大学情報法政策学研究センター長）</p> <p>“Looking at Patent System from Institutional Perspectives”</p>
2016年 3月8日	<p>知的財産法研究会（明治大学知的財産法政策研究所と共同開催）</p> <p>青木 大也（大阪大学大学院法学研究科准教授）</p> <p>「著作権法におけるパロディの取扱い」</p> <p>長谷川 遼（立教大学法学部准教授）</p> <p>「米国における Reverse Passing Off について」</p>

<p>2016年 3月9日</p>	<p>知的財産法研究会 (明治大学知的財産法政策研究所と共同開催) 前田 健 (神戸大学大学院法学研究科准教授) 「PBP最高裁判決の射程と今後の課題」 金子 敏哉 (明治大学法学部准教授) 「同一性保持権侵害の要件としての『著作物の改変』: 改変を認識できれば『改変』にあたらぬ説」</p>
<p>2016年 3月31日</p>	<p>Workshop at the Centre for Asian Legal Studies The University of British Columbia, Vancouver, Canada 田村 善之 (北海道大学大学院法学研究科教授、同大学情報法政策学研究センター長) “Rethinking Copyright for the Digital Age” 比良友佳理 (京都教育大学教育学部社会科学科講師) “The Dual Relationship between Copyright and Freedom of Expression”</p>
<p>2016年 4月23日</p>	<p>知的財産法研究会 比良友佳理 (京都教育大学教育学部社会科学科講師) 「不正競争防止法2条1項3号の保護の開始時期—スティック加湿器事件—」 ※詳細については、本誌本号に掲載の評釈を参照されたい。</p>
<p>2016年 5月26日</p>	<p>知的財産法研究会 許 清 (北海道大学大学院法学研究科博士後期課程) 「商標類否の判断基準に関する一考察—裁判例に基づく商標類似性に対する分析—」 ※詳細については、本誌本号から連載の論文を参照されたい。</p>
<p>2016年 6月25日</p>	<p>知的財産法研究会 中山 一郎 (國學院大學法科大学院教授) 「平成27年職務発明制度改正を考える」</p>
<p>2016年 7月2日</p>	<p>知的財産法研究会 駒田 泰士 (上智大学法学部教授) 「特許製品の越境と損害賠償」 ※詳細については、本誌第50号に掲載予定の論文を参照されたい。 劉 孔中 (シンガポールマネージメント大学教授) “The Regulation of SEPs in East Asian Economies – Some New Standards?”</p>

<p>2016年 7月23日</p>	<p><b>日韓知財シンポジウム</b>  場所：早稲田大学  田村 善之（北海道大学大学院法学研究科教授、同大学情報法政策学研究センター長）  「プロダクト・バイ・プロセス・クレームの許容性と技術的範囲：  ープラバスタチンナトリウム事件最高裁判決の検討ー」  ※田村善之教授は、「日本におけるPBPクレームの解釈」のパネルディスカッションにもパネリストとして参加した。</p>
<p>2016年 7月30日</p>	<p><b>知的財産法研究会</b>  林 娜（北海道大学大学院法学研究科修士課程）  「応用美術の著作権による法的保護に関する中日比較」</p>
<p>2016年 9月30日</p>	<p><b>2016 Asia Intellectual Property Symposium: The Challenge and Prospect of Patent Invalidation in Taiwan and Asia</b>  場所：国立台湾大学（台湾・台北）  田村 善之（北海道大学大学院法学研究科教授、同大学情報法政策学研究センター長）  “Patent Invalidation System and Related Issues in Japan”</p>
<p>2016年 10月3日</p>	<p><b>知的財産法研究会</b>  田村 善之（北海道大学大学院法学研究科教授、同大学情報法政策学研究センター長）  “Looking at Patent System from Institutional Perspectives”  Branislav HAZUCHA（北海道大学大学院法学研究科准教授）  “Recent Trends in Copyright Protection in Japan, EU and US”</p>
<p>2016年 11月26日</p>	<p><b>知的財産法研究会</b>  大日方信春（熊本大学法学部教授）  「商標と表現の自由」  平澤 卓人（さっぽろ法律事務所弁護士・北海道大学大学院法学研究科博士後期課程）  「憲法上の表現の自由に基づく標識法の権利制限」  比良友佳理（京都教育大学教育学部社会科学科講師）  「著作権と表現の自由に関する近時のヨーロッパ人権裁判所判決について」</p>
<p>2016年 12月9日</p>	<p><b>知的財産法研究会</b>  奥邨 弘司（慶應義塾大学大学院法務研究科教授）  「著作権法制の明日～来たるべき技術的特異点に備えて～」</p>

<p>2016年 12月10日</p>	<p>知的財産法研究会  Federica BALDAN (University of Antwerp, Government &amp; Law, PhD Student)  “Judicial Coherence in the European Patent System”  胡 晶晶 (知的財産研究所招聘研究者)  “Determining Damages for Patent Infringement—Comparative Study between Japan, Germany and China”</p>
<p>2016年 12月16日</p>	<p>知的財産法研究会 (民事法研究会と共同開催)  田村 善之 (北海道大学大学院法学研究科教授、同大学情報法政策学研究センター長)  「商号等の不正使用行為に対する規律 (商法12条・会社法8条) をめぐる一考察」</p>